

申請団体名：黒沢まちづくり委員会

令和元年度浜田市まちづくり総合交付金 課題解決特別事業 事業報告書

事業名  
三隅南小学校 拡大同窓会【負のスパイラルからの脱却作戦 第2弾】

事業費（予算額）：660,000 円（まちづくり総合交付金課題解決特別事業）：100,000 円

**P**

- ・事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果  
 黒沢地域のこれからの不安。地域が疲弊しきっている。誰かに助けを求めたい。  
 地域は、何事についてもやる気をなくしています。地域は年々年を取り、身体の弱体化と共に行動することが厳しく生活が苦しい。誰に助けを求めればいいのでしょうか。  
 それはやはり、黒沢を知っている、ふる里の出身者だと思えます。その出身者にすぐることが一番だと答えを出しました。関係を深め、交流を活発化したい。これが地域の課題解決に向かうための目標・目的です。

**D**

- ・事業の概要  
 「第1回三隅南小学校 拡大同窓会」の実施。案内する同窓生は約150人。開催の時期は8月11日（傘祝日山の日）ここ黒沢地区では、この日を「かっぱの日」と言います。黒沢の夏の風物詩として広く地域内外に知れ渡っているイベント「かっぱランド夏まつり」に合わせて実施。  
 地域が頑張っている姿を見てもらい、帰省された子供たちに思いっきり自然体験をしてもらいたい。子供たちの夏休みの思い出の1ページに。そして親世代には、ふる里を見直してほしい。  
 ふる里との交流を深めるきっかけに、ふる里を応援する気持ちを高めて、ふる里サポーターになってください。

**C**

- ・課題の解決度合（10段階の自己評価）  
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
- ・上記評価の理由
  - ◆ 多くの同窓生が呼びかけに応じて集まってくれた。
  - ◆ ふる里サポーターへの賛同を得た。
  - ◆ ふる里の産物「ふる里米“いいね、黒沢”」の希望調査では多くの注文があった。
  - ◆ 「かっぱランド夏まつり」には多くの親子連れが参加し、はしゃぐわが子の姿を見ながら嬉しさを噛みしめている姿が印象的だった。
  - ◆ 今後の交流に弾みがついた。

**A**

- ・事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を10に近づけるために）
  - ◆ ふる里の産物を買いたいというニーズはつかなかったが、送料問題等の解決策を考えねばならない。色々な方策はあるものの、少し時間をかけて策を練りたい。
  - ◆ 一番の問題は、地域民を挙げての活動とならない。どうしても地域のことを考え、危機感を持っている人達だけが取り組む形となった。誰もが当事者意識をもって動く地域像とまていかない。これが解決すれば「10」となる。

